



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月12日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部 本部長 (氏名) 日笠 基 TEL 03-6222-2852
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	12,469	5.6	1,351	23.9	1,742	57.4	965	92.5
30年3月期第2四半期	11,808	14.5	1,090	181.6	1,107	—	501	△78.5

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,266百万円 (68.6%) 30年3月期第2四半期 750百万円 (△62.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	89.09	88.89
30年3月期第2四半期	55.60	55.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	30,577	20,113	53.4	1,506.13
30年3月期	27,995	19,085	51.8	1,338.74

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 16,325百万円 30年3月期 14,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
31年3月期	—	18.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 31年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,300	9.6	2,200	△0.6	2,560	28.1	1,420	57.4	131.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	11,089,200株	30年3月期	11,089,200株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	249,888株	30年3月期	255,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	10,835,914株	30年3月期2Q	9,018,362株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 決算説明会資料の入手方法

当社は平成30年11月20日（火）に第2四半期決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかにTDnet及び当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国政権の政策動向や通商問題、地政学リスクの影響等に留意する必要があるものの、全体としては緩やかな回復基調となりました。

わが国経済におきましては、雇用・所得環境の改善が続くなか設備投資が増加し、個人消費の持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、差別化の出来る高付加価値な汎用製品及びターゲット市場により特化した特長を有した製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めてまいりました。
- ・製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、グループ内の製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと納期対応の実現に取り組みました。
- ・地域に密着した営業体制を進め、昨年開設した名古屋営業所の強化、海外販売子会社における営業・技術サポート担当者の充実を図り、顧客の要望や製品企画への迅速な対応と営業基盤のより一層の強化に努めました。
- ・関西技術センターの解析力を活用するとともに、協力工場との一層の関係強化を進め、産業機器や車載製品等のターゲット市場を意識した品質保証体制と各種認定制度への対応を図りました。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、相互の人的交流や共同プロジェクトを推進しました。
- ・製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のため、フェニテックセミコンダクター株式会社本社工場の第一工場への統合工事をすすめ、新棟を竣工し製品試作を開始しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高124億69百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益13億51百万円（前年同期比23.9%増）、経常利益17億42百万円（前年同期比57.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億65百万円（前年同期比92.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器、車載機器等の分野向けの売上が増加したことにより、88億46百万円（前年同期比7.9%増）となりました。

②アジア

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器、PC機器等の分野向けの売上が増加しましたが、デジタル家電等の分野向けの売上が減少したことにより、28億26百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

③欧州

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に医療機器等の分野向けの売上が増加しましたが、産業機器等の分野向けの売上が減少したことにより、4億49百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

④北米

当第2四半期連結累計期間における売上高は、主に産業機器等の分野向けの売上が増加したことにより、3億47百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は224億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億92百万円の増加となりました。主な要因はフェニテックセミコンダクター株式会社において資金の借入を行ったことにより、現金及び預金15億59百万円の増加に加えて、たな卸資産4億89百万円、受取手形及び売掛金1億82百万円の増加に対し、有価証券16億円の減少によるものであります。固定資産は81億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億89百万円の増加となりました。主な要因はフェニテックセミコンダクター株式会社において第一工場の新棟を竣工したことにより有形固定資産16億79百万円の増加に加えて、無形固定資産54百万円、投資その他の資産55百万円の増加によるものであります。

この結果、総資産が305億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億82百万円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は75億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億11百万円の増加となりました。主な要因は未払法人税等3億40百万円、その他のうち未払金8億45百万円の増加に対し、短期借入金3億79百万円の減少によるものであります。固定負債は28億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億42百万円の増加となりました。主な要因はフェニテックセミコンダクター株式会社において資金の借入を行ったことにより、長期借入金8億35百万円の増加によるものであります。

この結果、負債合計が104億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億53百万円の増加となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は201億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億28百万円の増加となりました。主な要因は利益剰余金7億69百万円、子会社増資引受等による資本剰余金9億79百万円の増加に対し、非支配株主持分7億93百万円の減少によるものであります。

以上の結果、自己資本比率が53.4%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び今後の動向を踏まえ、平成30年8月10日の「平成31年3月期第2四半期（累計）連結業績予想及び平成31年3月期通期連結業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途開示いたします「平成31年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,834,842	12,394,372
受取手形及び売掛金	4,362,900	4,545,473
有価証券	1,600,000	—
たな卸資産	4,513,709	5,003,288
その他	359,278	519,780
貸倒引当金	△1,932	△1,598
流動資産合計	21,668,799	22,461,316
固定資産		
有形固定資産	4,294,474	5,973,857
無形固定資産	234,389	289,343
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	23,556	75,199
その他	1,798,974	1,804,243
貸倒引当金	△25,194	△26,924
投資その他の資産合計	1,797,337	1,852,519
固定資産合計	6,326,201	8,115,720
資産合計	27,995,000	30,577,036
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	984,648	913,686
短期借入金	2,483,191	2,103,405
1年内返済予定の長期借入金	1,102,863	1,143,898
未払法人税等	257,634	598,160
賞与引当金	450,961	462,910
その他	1,577,287	2,346,053
流動負債合計	6,856,586	7,568,114
固定負債		
長期借入金	1,393,569	2,228,782
退職給付に係る負債	263,810	280,923
株式給付引当金	26,728	36,230
その他	368,842	349,388
固定負債合計	2,052,951	2,895,324
負債合計	8,909,537	10,463,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	3,927,606	4,907,543
利益剰余金	7,949,646	8,719,028
自己株式	△416,335	△406,840
株主資本合計	14,428,851	16,187,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,868	△42,188
為替換算調整勘定	25,936	124,456
退職給付に係る調整累計額	58,536	55,427
その他の包括利益累計額合計	74,604	137,694
非支配株主持分	4,582,007	3,788,237
純資産合計	19,085,463	20,113,598
負債純資産合計	27,995,000	30,577,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	11,808,968	12,469,504
売上原価	8,241,540	8,656,019
売上総利益	3,567,427	3,813,485
販売費及び一般管理費	2,476,907	2,462,018
営業利益	1,090,519	1,351,466
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,298	15,513
為替差益	14,479	366,407
ロイヤリティ収入	5,958	5,508
その他	16,442	27,787
営業外収益合計	48,178	415,217
営業外費用		
支払利息	17,340	15,750
支払手数料	4,000	4,000
その他	10,145	4,007
営業外費用合計	31,485	23,757
経常利益	1,107,212	1,742,926
特別利益		
固定資産売却益	—	1,631
補助金収入	28,661	—
受取保険金	—	2,255
その他	—	400
特別利益合計	28,661	4,286
特別損失		
固定資産除売却損	30,821	12,000
固定資産圧縮損	13,814	—
災害による損失	2,771	—
その他	—	66
特別損失合計	47,407	12,067
税金等調整前四半期純利益	1,088,466	1,735,146
法人税等	314,629	522,634
四半期純利益	773,836	1,212,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	272,380	247,179
親会社株主に帰属する四半期純利益	501,455	965,331

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	773,836	1,212,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,399	△43,307
為替換算調整勘定	18,552	101,438
退職給付に係る調整額	△5,132	△4,465
その他の包括利益合計	△22,979	53,664
四半期包括利益	750,857	1,266,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	495,956	1,028,422
非支配株主に係る四半期包括利益	254,900	237,753

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,088,466	1,735,146
減価償却費	449,513	434,231
固定資産除売却損益 (△は益)	30,821	10,369
固定資産圧縮損	13,814	—
災害損失	2,771	—
補助金収入	△28,661	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,584	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,459	10,676
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△51,643
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△42,973	21,375
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	12,787	9,501
受取利息及び受取配当金	△11,298	△15,513
支払利息	17,340	15,750
為替差損益 (△は益)	1,170	△182,524
売上債権の増減額 (△は増加)	△227,436	△160,616
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△417,533	△477,233
仕入債務の増減額 (△は減少)	△83,306	△45,189
その他	56,475	△134,149
小計	889,826	1,170,178
利息及び配当金の受取額	11,215	15,431
利息の支払額	△19,359	△13,967
法人税等の支払額	△177,908	△233,360
補助金の受取額	28,661	—
災害損失の支払額	△2,771	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	729,663	938,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△95	△101
有価証券の取得による支出	—	△100,000
投資有価証券の取得による支出	△1,883	△1,985
有価証券の償還による収入	—	200,000
有形固定資産の取得による支出	△258,284	△1,289,740
有形固定資産の売却による収入	—	1,631
無形固定資産の取得による支出	△147,154	△89,063
敷金及び保証金の差入による支出	△2,444	△150
敷金及び保証金の回収による収入	2,350	2
その他	△26,352	△17,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	△433,865	△1,297,367
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60,000	△380,000
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△551,460	△623,752
自己株式の処分による収入	—	112
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	—	2,441
リース債務の返済による支出	△24,949	△23,729
配当金の支払額	△143,963	△195,065
非支配株主への配当金の支払額	△6,024	△48,907
その他	△17,122	△18,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	△683,519	213,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,253	205,264
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△386,467	59,197
現金及び現金同等物の期首残高	9,714,789	12,280,333
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,328,321	12,339,531

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月2日開催の取締役会決議において、当社子会社であるフェニテックセミコンダクター株式会社が実施する第三者割当増資について全額引き受けることを決議し、平成30年4月18日に実行いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が982,615千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,907,543千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	8,194,654	2,848,989	457,629	307,694	11,808,968	—	11,808,968
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,087,859	188,835	19,228	22,465	3,318,389	△3,318,389	—
計	11,282,513	3,037,825	476,858	330,160	15,127,357	△3,318,389	11,808,968
セグメント利益	976,026	56,166	36,282	8,904	1,077,379	13,139	1,090,519

(注)1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額13,139千円には、セグメント間取引消去13,139千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	8,840,024	1,585,998	825,973	556,972	11,808,968

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	8,846,073	2,826,908	449,123	347,399	12,469,504	—	12,469,504
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,184,458	185,526	17,976	18,997	3,406,959	△3,406,959	—
計	12,030,531	3,012,435	467,099	366,396	15,876,463	△3,406,959	12,469,504
セグメント利益	1,248,895	69,368	33,125	20,535	1,371,924	△20,457	1,351,466

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△20,457千円には、セグメント間取引消去△20,457千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	9,511,268	1,686,775	747,392	524,067	12,469,504